インフラメンテナンス国民会議
近畿本部フォーラム

Press release

令和8年11月9日14時00分
インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム　事務局

自治体のインフラ課題に、民間技術が応えます！

～　施設管理者（ニーズ）と民間企業等（シーズ）のマッチング　～

近畿本部フォーラム（情報WG）では、施設管理者が抱える課題　（ニーズ）と課題を解決しうる民間企業等の技術（シーズ）をマッチングさせ、現場における技術検証を行ったうえで社会実装を目指す活動を実施しています。　（※活動の流れは 別添 参照）

1．内容

令和8年10月5日に開催した第14回フォーラムにおいて行った、施設管理者及び民間企業等を交えた情報交換・討議を経て深化されたニーズに対して、民間企業等が技術（シーズ）の提案を行う「第12回ピッチイベント」を開催します。

2．日時、場所

日　時　：令和8年12月１日（火）13:00～17:15（12:30受付開始）
場　所　：大手前合同庁舎　1階会議室（大阪市中央区大手前3丁目1-41）

3．ピッチイベントテーマ

【別紙1】の5テーマに対し、民間企業等から技術の提案をしていただきます。

4．傍聴の募集

【別紙2】「募集要領」を確認のうえ、Webフォームより応募をお願いします。

※　事前申込み制となっております。定員は70名で先着順のため、定員に達し次第、締切といたします。

※　本イベントは後日、下記近畿本部フォーラムのHPにて動画配信を予定しています。

近畿本部フォーラムHP：https://infurakinkihonbu.jp/video/kinkihonbu

5．取材について

本ピッチイベントは全て公開とさせていただきます。
取材を希望される方は、【別紙3】「取材申込書」を確認のうえ事前に申込みください。

（参考）

「インフラメンテナンス国民会議」とは、社会全体でインフラメンテナンスに取り組む機運を高め、未来世代によりよいインフラを引き継ぐべく、産学官民が有する技術や知恵を総動員するために設立されたプラットフォームです。

（詳細は　https://jcim.jp/　をご参照下さい。）

＜取扱い＞　――――――――

＜配布場所＞ 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ

＜問合せ先＞
インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム　事務局
一般社団法人　国土政策研究会　関西支部　TEL 06-7777-7858(担当者直通)

別添

近畿本部フォーラム（情報WG）活動の流れ



ピッチイベントテーマ

① 高い位置にある吊り橋の主索を補修する技術

② ダムの堆砂状況の計測・モニタリングを省力化できる技術

③ 街路灯の不点灯・照度（不具合）を確認する技術

④ 道路植生の維持管理における省力化・効率化できる技術

⑤ 目視では把握困難な河川構造物の状況を非破壊で調査できる技術

※詳細は、【別紙1】「第12回ピッチイベントテーマ」を参照ください。

【別紙1】

第12回　ピッチイベントテーマ

テーマ1：高い位置にある吊り橋の主索を補修する技術

【 ニーズの概要 】
主索、吊索の補修を仮設無しもしくは簡易的な仮設で補修できる技術

【 求める技術 】
以下の全てに該当する技術を求める。
・高所での作業において、50年後のLCC比較で有利となるよう、主索並びに吊索の補修ができる技術
・補修による河川や湖沼への有害物質等の飛散防止
・生活のための唯一の道であるため、全面通行止めを伴わない補修技術
（・可能であれば、吊索の取替も同時に行える技術）

【 求める条件 】
・当初補修設計以上の品質
（当初補修設計：足場工＋錆転換塗替補修）

【 応募のあった技術 】

(1)「阿南電機株式会社」
(2)「アルファペイント株式会社」

テーマ2：ダムの堆砂状況の計測・モニタリングを省力化できる技術

【 ニーズの概要 】
・担当職員が減少している状況で、調査、分析、データ作成等を省人化したい
・現状より安価に実施したい

【 求める技術 】
・調査、分析、データ作成等の省人化を図れる技術

【 求める条件 】
・国土交通省「ダムの堆砂状況調査要領（案）」に適合していること
・公共歩掛より安価に実施できること

【 応募のあった技術 】

(1)「株式会社みすず綜合コンサルタント」
(2)「日本工営株式会社」
(3)「株式会社ジャパン・インフラ・ウェイマーク」
(4)「株式会社きんそく」

テーマ3: 街路灯の不点灯・照度(不具合)を確認する技術

【 ニーズの概要 】
現地対応、電話対応を含むシステム、発見・通報から措置に至るまでの人員・時間を軽減させたい

【 求める技術 】
以下のいずれかに該当する技術を求める。
・現地対応作業を軽減する技術(パトロールの人員削減等)
・市民通報への対応を軽減する技術(業者への連絡等)
・発見・通報から措置に至るまでの作業を軽減する技術

【 求める条件 】
以下のいずれかに該当する条件を求める。
・下記の規模に対し、全体管理の効率化につながる
　道路管理延長:約410km
　街路灯:単独柱1,740基、共架11, 972基
・画像等で不点灯が確認できること
・画像等で照度が確認できること
・衛星画像等により市全体の照度分布が把握できること

【 応募のあった技術 】
(1)「株式会社リモデルパートナーズ」

テーマ4: 道路植生の維持管理における省力化・効率化できる技術

【 ニーズの概要 】
・街路樹の点検・診断及び植栽帯の除草等の省人化・効率化
・街路樹及び路肩部植生の管理を一体的に実施する新たな維持管理手法の確立(AI活用含む)

【 求める技術 】
以下のいずれかに該当する技術を求める。
・①樹木の点検・診断を効率的に実施できる技術および経年変化を効率的に整理できる技術
・②歩道部(根上り、植栽侵入)の点検及び健全性を評価できる技術
・③路肩部植栽(植栽帯内)の除草を効率化できる技術

【 求める条件 】
<共通>
・費用について、従来の方法と同程度またはそれ以下であることが望ましい
<①・②>
・専門的な知識や技能を有しない者でも、点検が可能であること
・従来の方法と比較して効率的(省人化・省力化・時間短縮)であること
<③>
・従来の方法と比較して効率的(省人化・省力化・時間短縮)、または除草効果について、持続性を有すること
・施工時および周辺環境への安全性を確保できること

【 応募のあった技術 】
(1)「アルソシア建設株式会社」
(2)「西日本高速道路エンジニアリング四国株式会社」
(3)「太陽工業株式会社」
(4)「日産化学株式会社」
(5)「ケルヒャージャパン株式会社」

テーマ5：目視では把握困難な河川構造物の状況を非破壊で調査できる技術

【 ニーズの概要 】
過去に整備された護岸等で根入れ深さを確認したい

【 求める技術 】
・掘削しないで根入れ深さを推定できる技術
（例えば、音波探査や電磁波などを用いる技術。AIで推定ができるとなおよい。）

【 求める条件 】
・護岸の形態は、ブロック積みや石積み、石張り等さまざまあるが、適切な箇所（隔壁など）で非破壊探査等、簡易に実施できるもの
・すでに根入れ深さがわかっている複数の箇所において、当該技術を使用し根入れ深さを計測し、概ね妥当な結果が得られるもの

【 応募のあった技術 】
(1)「株式会社計測技術サービス」

【 ニーズの概要 】
鋼矢板護岸の塗装の剥離や浮きを面的に把握したい

【 求める技術 】
・写真測量などを用いて塗装の状況を面的に（例えば、幅10m単位で塗装の更新が必要な箇所の有無を判定）把握できる技術

【 求める条件 】
・背の高い自立式鋼管矢板で整備した区間など、防食塗装の状態を対岸から目視することが困難な箇所で調査できるもの
・すでに剥離や浮きが把握されている複数の箇所において、当該技術を使用し概ね妥当な結果が得られるもの

【 応募のあった技術 】
(1)「スカイセッター株式会社」
(2)「株式会社東設土木コンサルタント」

【 ニーズの概要 】
ボックス河川の内壁の状況を把握したい

【 求める技術 】
・常に通水している、濁りや付着物のある暗渠河川内壁のひび割れ等の不具合を把握できる技術

【 求める条件 】
・水流や、水中に濁りがある場合でも、施設表面の不具合が発見できるもの
・内壁のひび割れ等の不具合について、画像解析が可能な程度の情報が取得できるもの

【 応募のあった技術 】
(1)「株式会社東設土木コンサルタント」

【別紙2】

募 集 要 領

1. 参 加 資 格

インフラメンテナンス国民会議　会員

＊　インフラメンテナンス国民会議の会員でない機関は、応募にあわせて会員登録が必要です。会員登録については、
https://jcim.jp/member/apply/email　　をご参照下さい。

2. ピッチイベントテーマ

【別紙1】をご参照下さい。

3. 開催方法

ピッチイベントは、会場開催 及び HPにて後日動画配信を予定します。

■会場開催

・傍聴場所：大手前合同庁舎　1階会議室（大阪市中央区大手前3丁目1-41）

・定員：70名（先着順）

■動画配信について

・下記近畿本部フォーラムのHPにて後日動画配信を予定しています。
近畿本部フォーラムHP：　https://infurakinkihonbu.jp/video/kinkihonbu
※ 2026年12月下旬頃、配信開始予定

4. 応募手続き

【Webフォームによる応募について】
下記URLのWebフォームより応募をお願いします。

申込フォームURL：　https://forms.cloud.microsoft/r/aHBD2ZAEdt
応　募　期　間：11月9日（月）から11月20日（金）12：00まで
問　合　せ：インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム事務局
一般社団法人 国土政策研究会関西支部 TEL 06-7777-7858（担当者直通）

5. その他

＊　最新情報や申請書等については、下記近畿本部フォーラムHPよりご確認下さい。
申請書の電子データや、留意事項については、下記HPよりご確認下さい。
■　https://infurakinkihonbu.jp/news/65

＊　過去のピッチイベント等の開催状況は、下記URLよりご参照下さい。
■　https://infurakinkihonbu.jp/activities/info-wg/events

【別紙2】

第12回ピッチイベント
プログラム（案）

1	受付		12:30 ～ 13:00
2	開会/挨拶		
3	テーマ1	高い位置にある吊り橋の主索を補修する技術 ・技術（シーズ）提案：2社	
4	テーマ2	ダムの堆砂状況の計測・モニタリングを省力化できる技術 ・技術（シーズ）提案：4社	
5	テーマ3	街路灯の不点灯・照度（不具合）を確認する技術 ・技術（シーズ）提案：1社	
6	テーマ4	道路植生の維持管理における省力化・効率化できる技術 ・技術（シーズ）提案：5社	
7	テーマ5	目視では把握困難な河川構造物の状況を非破壊で 調査できる技術 ・技術（シーズ）提案：3社	
8	総評/閉会		～ 17:15

＊　各テーマの開始時刻については、当日の進行具合によります。

【別紙3】

インフラメンテナンス国民会議　近畿本部フォーラム　第12回ピッチイベント

取材申込書

①所属（会社名）	
②連絡先（TEL）	
③連絡先（メールアドレス）	
④氏　名（参加者　1）＊代表	
⑤氏　名（参加者　2）	
⑥氏　名（参加者　3）	

※申込は電子メールにて行ってください。

申 込 み ア ド レ ス kansaishibu-jimukyoku@kokuseiken.or.jp

【備　考】

- **取材は必要最低人数でお願いします。**
- **複数名の参加を希望される場合は、全員分のお名前を御記入下さい。**
- **連絡先は、参加者1（代表） の連絡先をご記入ください。**

【受信確認先】

インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム　事務局

一般社団法人　国土政策研究会　関西支部　TEL 06-7777-7858(担当者直通)